

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 2号)

2023年10月27日発行
兵庫のり研究所

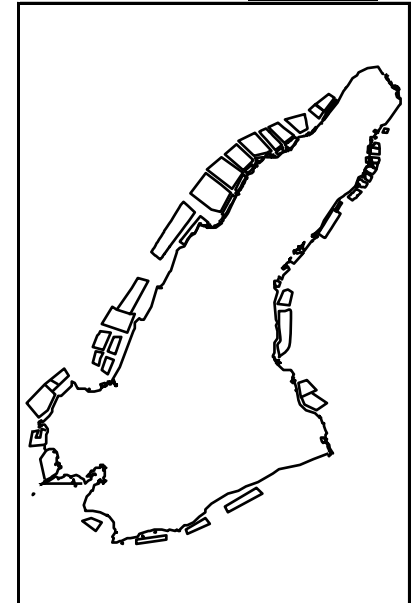
東浦海域では、小型珪藻のキートセロス、リゾソレニア等が多く確認されています。南浦海域では、大型珪藻のコシノディスカスがやや増加していました。窒素は、海域全般に概ね1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(栄養塩・珪藻)

東浦海域では、塊状の群体を形成するキートセロス・ソシアリスが、海水1Lあたり100~200群体と多く確認された。南浦海域では、コシノディスカスが海水1Lあたり20~50細胞(前回値:0~5細胞)と、前回(10/18)調査と比較してやや増加していた。西浦海域では、珪藻類はほぼ確認されない。

鳥飼漁場では、陸水等の影響が見られ、アンモニア態窒素の値がやや高くなっていた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.2	1.6	4.5	4.0
	リン	0.65	0.53	0.51	0.54
西浦地先	窒素	2.8	2.7	4.8	4.5
	リン	0.88	0.73	0.68	0.65
南浦地先	窒素	5.2	1.6	3.7	4.4
	リン	1.02	0.69	0.54	0.63

(10/18)

(10/28)

栄養塩 (窒素) 図

2023年10月27日調査

